



クラシキ キャリステージ CPBシリーズ

ポンプ用防振台 取扱説明書

このたびは、弊社防振台をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
組立・据付工事を行う前に本書を必ずお読み頂き、十分ご理解のうえ正しく施工を行ってください。

安全上のご注意

下記注意事項は、安全に関する重要な項目ですので、必ず守ってください。また、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「注意」で明示しています。

「注意」示す危険度や傷害の内容



注意

- ・十分な防振性能又は固定強度・耐震強度等が発揮できなくなります。
- ・人が傷害を負う可能性および物的損害が想定されます。

この防振台は、ポンプに合わせてお客様にて一部組み立てていただく工程があります。
以下の内容を必ずお読みになり、組立作業及びポンプ本体据付作業を行ってください。

◎防振台の可動式台座側面穴に付属のガイドパイプを必ず貫通させ、ポンプ本体をボルトで固定してください。ガイドパイプを使用せずにポンプ本体を固定した場合、耐震強度不足又は脱落する危険があります。

◎ガイドパイプは納入仕様書に記載している寸法に切断のうえ、ご使用ください。ガイドパイプの切断は、ガイドパイプ挿入前でもポンプと防振台を固定した後でも構いません。ガイドパイプ切断時はバリ等を十分に取り除いてください。(P.3<注記>参照)

◎配管やバルブ類の質量及び防振継手の反力等は防振台設計に含まれておりません。

◎防振台に無理な力が加わらないよう、配管等周辺器材の支えを十分行ってください。

◎本製品は、排水機能を備えておりません。

結露水等の排水処理が必要な場合は、別途基礎側にてご対応ください。

◎組立時に手や指などを挟まないよう、安全には十分ご注意願います。

組立前の準備

●製品銘板ラベル中の品番がご注文の品と一致しているかご確認ください。

●付属品をご確認ください。

①ガイドパイプ : 1本 ②キャップ (ゴム製) : 2個

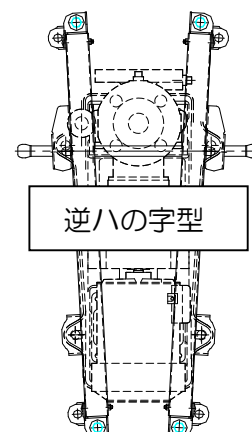
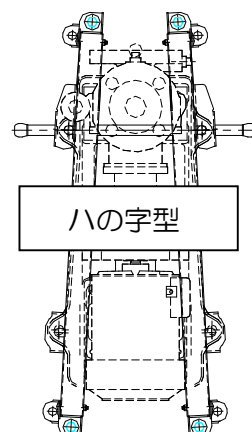
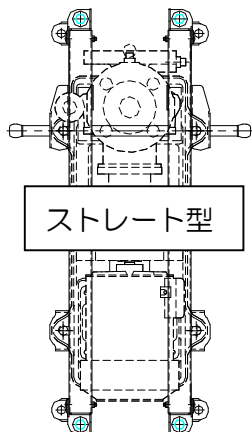
③ボルト (ポンプ取付用回り止め金具付) : 4個 ④ナット&平座金&ばね座金 (③のボルト用) : 4セット

⑤平座金 (基礎ボルト用) : 4個

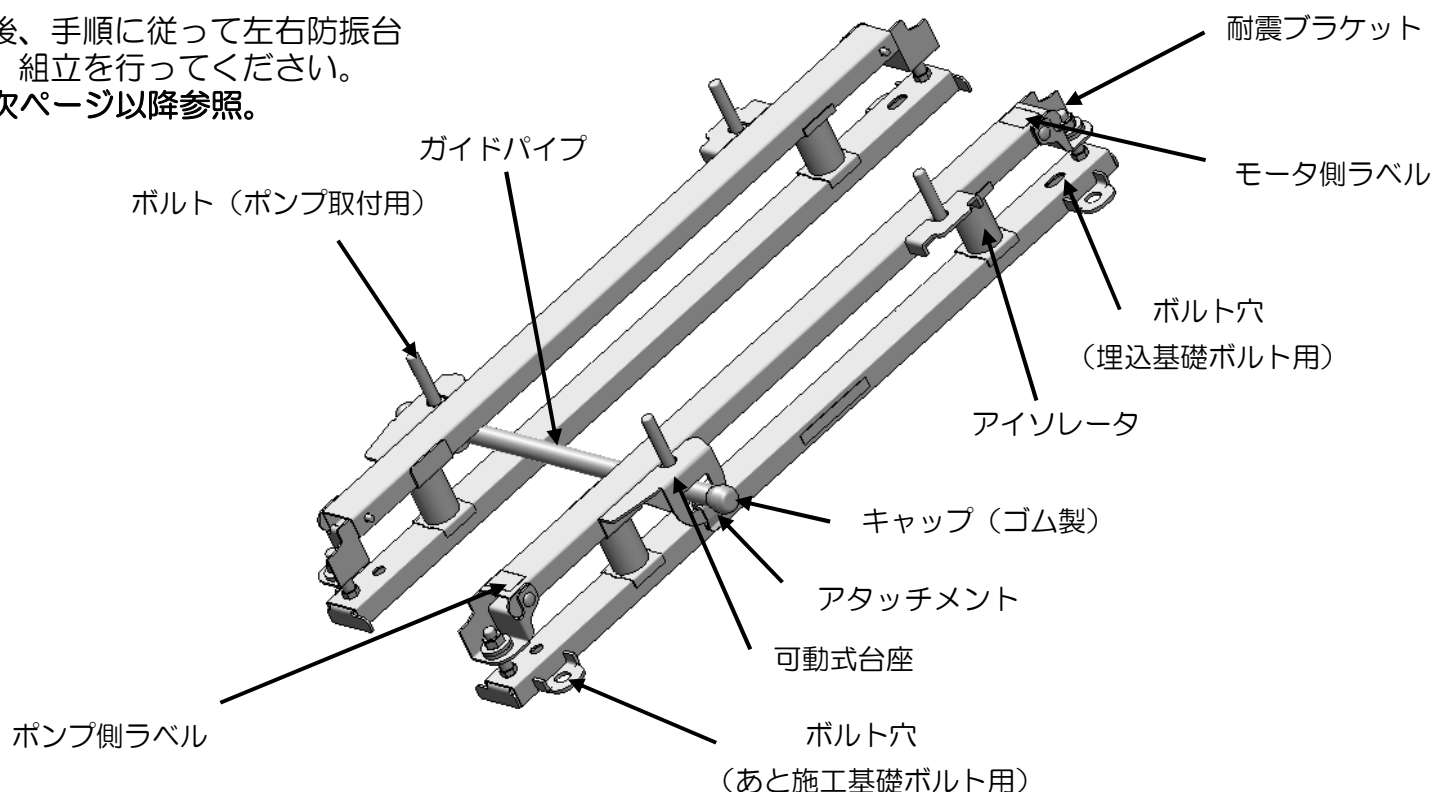
●基礎ボルトは付属しておりません。お客様にてご用意ください。

使用形態

ポンプによって防振台の使用形態が異なります。(詳細は納入仕様書参照)



開梱の後、手順に従って左右防振台の連結、組立を行ってください。
詳細は次ページ以降参照。



基礎のレベル出し

- 防振台を設置する基礎はレベルが出て、防振台のベースと密着するように平滑に施工された全面基礎としてください。
- 基礎据付面に凹凸がある場合や傾斜がある場合は、モルタルにて補修、又は、基礎据付面と防振台のベース間にくさび等を挿入して補正してください。

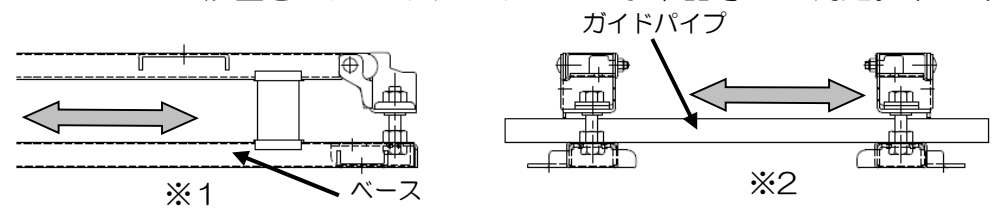
防振台を利用した水準器の置き方

<防振台長手方向>

設置予定場所に防振台をセットし、ベース上で水準器等にて測定。(※1)

<防振台短手方向>

左右のベースに仮置きしたガイドパイプ上で水準器等にて測定。(※2)



防振台の組立とポンプの据付

注意 組立時に手や指などを挟まないよう、安全には十分ご注意願います。

- ※ 本製品は基礎ボルトの種類によって組立手順が異なりますのでご注意ください。
- ※ チェーンブロック等を使用し、ポンプを吊った状態で据付けることを推奨しますが、吊った状態にできない場合は、基礎ボルトの種類に関わらず必ず所定の基礎ボルト位置に防振台を仮固定した後、下記の手順に従って施工してください。

手順 A (あと施工基礎ボルトの場合)

工程①→工程②→工程③→工程④→工程⑤
の手順で組立をお願いします。

工程①左右防振台配置

左右防振台を平行に置いてください。
この時、防振台には内外方向及びポンプ側とモータ側の区別があるので、方向を間違えないよう置いてください。

ポンプ側の台座は可動式です。
ポンプベースに合わせて適切な位置に移動させてください。

工程②ポンプと防振台の仮止め(モータ側)・ガイドパイプの挿入

ポンプと防振台のすき間が数ミリになる状態までポンプを下ろし、モータ側の取付穴が合うように防振台を移動させ、ボルト(ポンプ取付用)を仮止めしてください。(手順Bの場合はモータ側の取付穴が合うようにポンプを移動させてください。)

ポンプ取付用ボルトには回り止め金具がついています。(右図参照)ボルトを挿入するときには回り止め金具の向きに注意して挿入してください。

上記の作業完了後、右上図のように左右両防振台の可動式台座側面穴にガイドパイプを貫通させてください。

注意 回り止め金具付ボルトは、右図の向きで挿入ください。

工程③ポンプと防振台の仮止め(ポンプ側)

ポンプ側の穴位置が合うように防振台の角度を変え、可動式台座をスライドさせてください。(手順Bの場合は角度を変える必要はありません。)

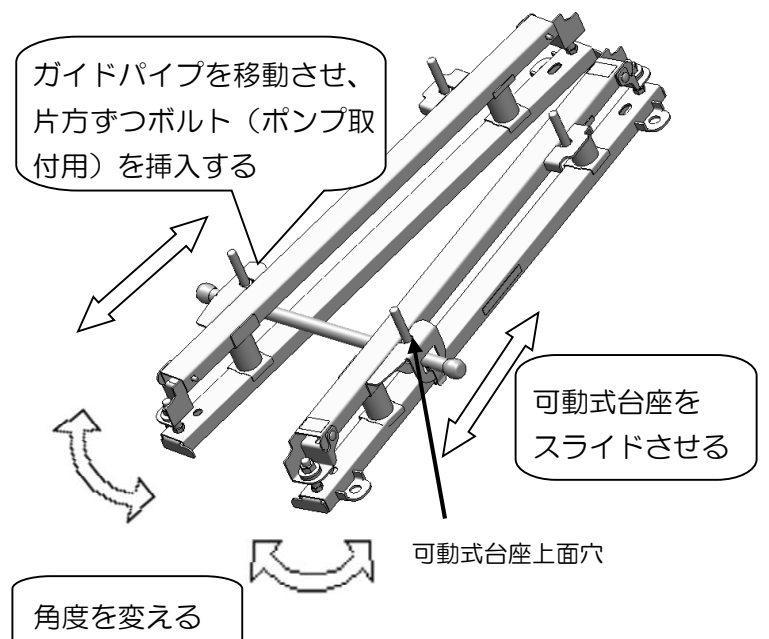
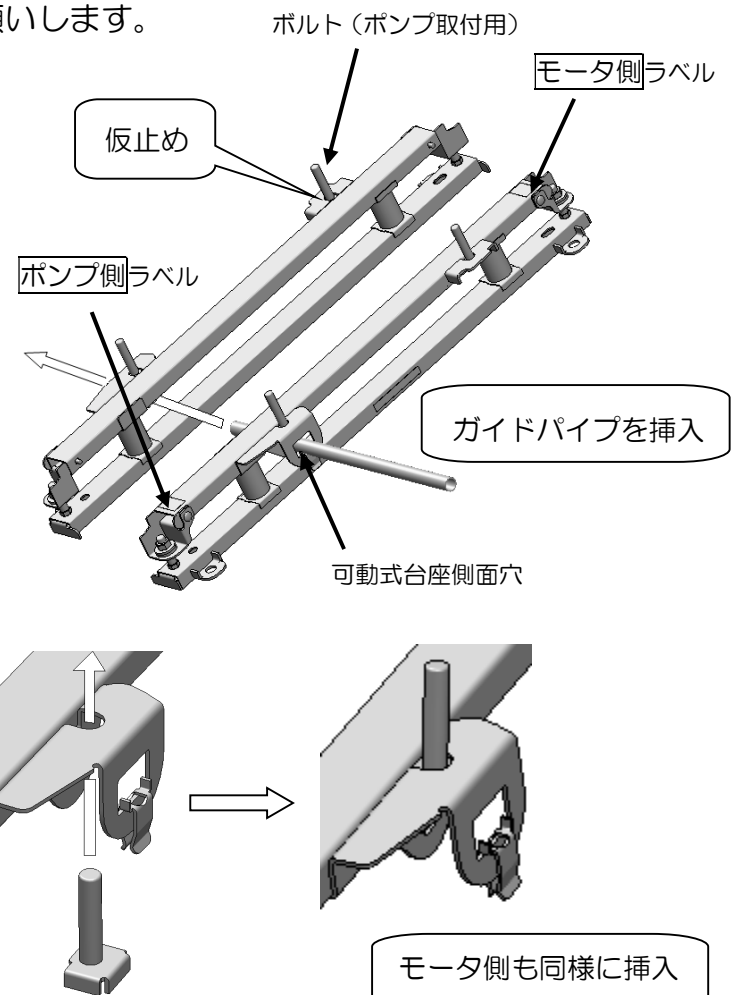
右上図に従い可動式台座上面穴へボルト(ポンプ取付用)を挿入してください。

ガイドパイプ端面にキャップ(ゴム製)を挿入しボルトを仮止めしてください。

尚、可動式台座位置及び防振台の角度の微調整には、プラスチックハンマーをご利用していただくと本体等を傷つけることなく作業が進められます。

手順 B (埋込基礎ボルトの場合)

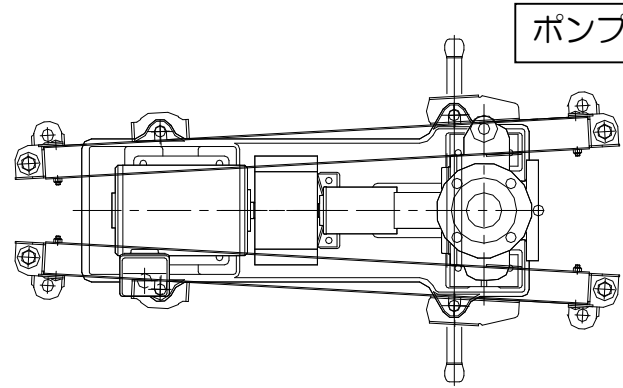
工程⑤→工程②→工程③→工程④
の手順で組立をお願いします。



工程④設置状況確認・ポンプと防振台の固定



ポンプのベースと防振台の上架台との設置状況より、右図例のようにポンプのベース底端面がしっかりと防振台の上架台上に載っていることを確認したうえで、全てのボルト（ポンプ取付用）を固定ください。

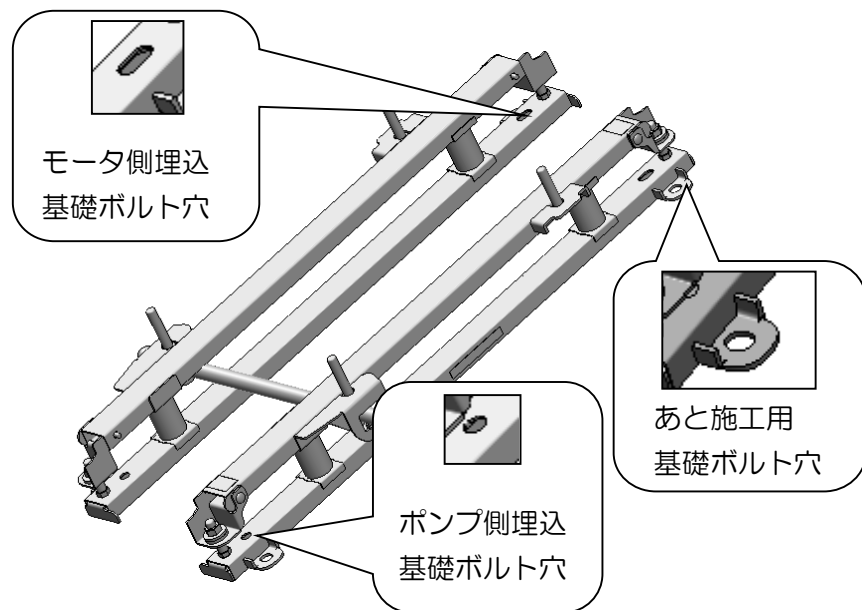


工程⑤基礎ボルトの固定

手順 A (あと施工基礎ボルトの場合)

基礎ボルトの固定を行ってください。

基礎への固定は、ベースに溶接固定されているあと施工用基礎ボルト穴をご利用ください。(下図参照)



手順 B (埋込基礎ボルトの場合)

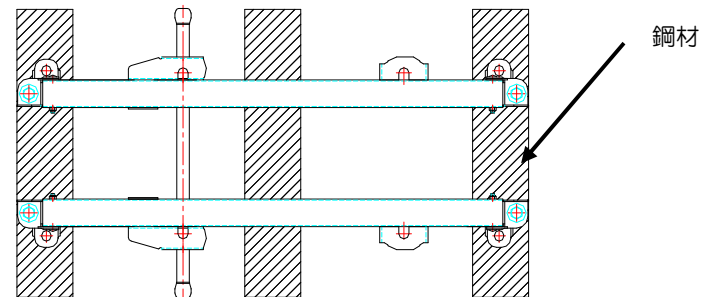
基礎に防振台を固定してから上記の工程②・③・④を行います。

基礎への固定は、あらかじめ埋め込まれている基礎ボルト4本を利用し、ポンプ側とモータ側の位置に注意しながら基礎コンクリート上へ固定してください。

手順 B (設備用鋼製架台と締結する場合)

設備用鋼製架台と防振台をボルトで固定してから工程②・③・④を行います。

固定は必ずポンプ側の基礎ボルトから行ってください。尚、CPB130~CPB150を設備用鋼製架台に設置する場合は両端と中央の3本以上の鋼材で支持してください。



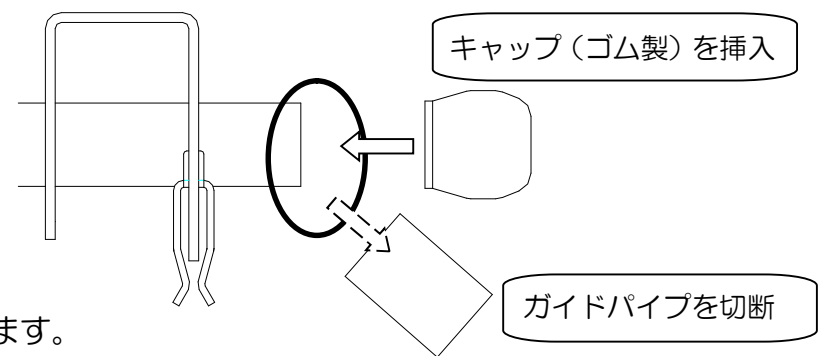
基礎ボルトの固定は埋込基礎ボルト穴をご利用ください。(左図参照)

<注記>

注意

ガイドパイプは納入仕様書に記載している寸法に切断のうえキャップ（ゴム製）を端面にはめ込んでください。(右図参照)
尚、ガイドパイプの切断はガイドパイプ挿入前でもポンプと防振台を固定した後でも構いません。

※ 右図はポンプと防振台を固定した後にガイドパイプを切断する場合を示しています。



注意 ガイドパイプ切断後には端面のバリ等を取り除いてください。

防振台のレベル確認と調整作業

①防振台の傾き確認

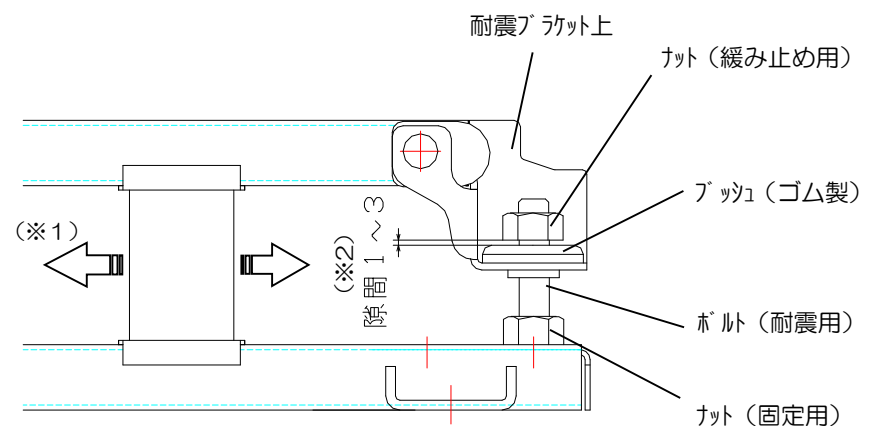
ポンプ（防振台共）据付け・水張り完了後、耐震ストッパー部のナット（緩み止め用）を十分に緩めて防振台の傾きを確認ください。
防振台の高さがポンプ側とモータ側で5mm以上の差がある場合は②に、そうでない場合は③に移ってください。

②防振台の傾き調整

接続している配管に注意しながら、防振台をジャッキアップし、防振台が低くなっている側にアイソレータ（モータ側）を移動（※1）させてレベルを調整してください。（ジャッキアップは移動させるアイソレータ（モータ側）付近でおこなってください。）

③耐震ストッパーの調整

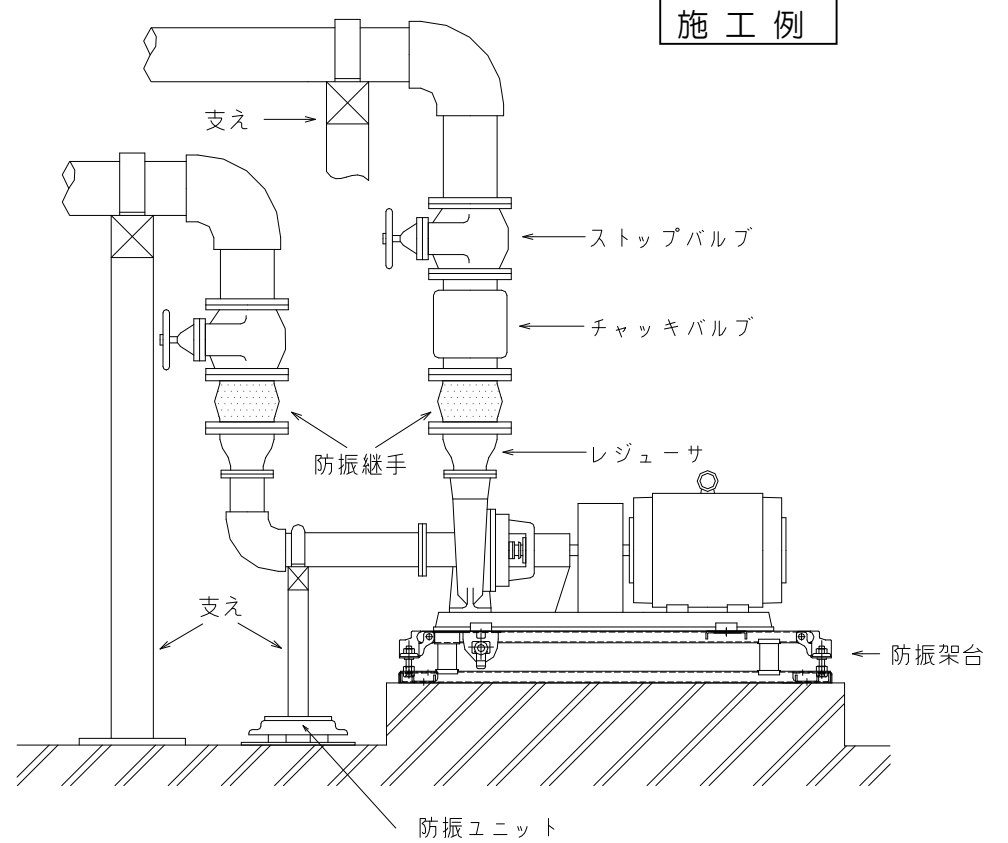
防振台のレベルが確認出来ましたら、ナット（緩み止め用）をブッシュ（ゴム製）上の座金との隙間が1~3ミリ（※2）になるよう、ナット（緩み止め用）を締めこんでください。



注意 可動式台座に組み込まれているアイソレータ（ポンプ側）は、レベル調整用に移動することができませんのでご注意ください。

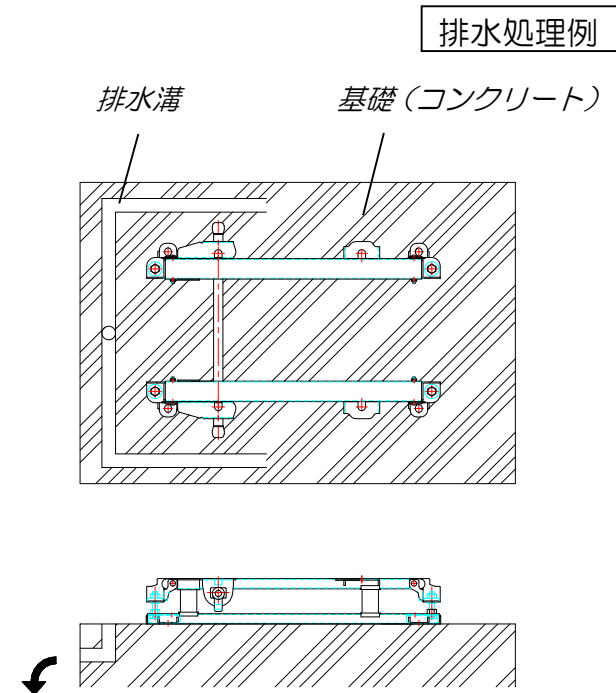
配管施工上の注意事項

- ◎ 配管作業では吸込み並びに吐出しの配管側から防振台への押し込み・引っ張り力又は横方向への力（総じて防振継手の反力）が負荷されないよう施工時に十分ご注意ください。また、防振台の効果を最大限得るために、ポンプの吸込みと吐出し側の適切な位置に防振継手又はパイプサイレンサーを装着してください。このとき、押し込み力・引っ張り力又は横方向への力が負荷されないよう、反力が小さく圧力に対する伸びの少ない防振継手を選定のうえご使用ください。
- ◎ 配管やバルブ類の質量は、防振台設計に含まれておりません。配管に支え等を設けて直接防振台に負荷がかからないように配慮ください。



基礎施工上の注意事項

- ◎ 基礎ボルトはお客様にてご用意ください。
- ◎ 基礎ボルトは耐震基準に準じた仕様にて埋設下さい。
- ◎ 本防振台は、排水機能を備えておりません。結露水等の処理が必要な場合は、別途基礎側にてご対応ください。
(排水処理例右図参照)



倉敷化工株式会社 産業機器事業部

<http://www.kuraka.co.jp/sanki/>

〒712-8555 岡山県倉敷市連島町矢柄四の町4630 TEL(086)465-1715(代)

10113134C(2021.01)